

Title	檜谷昭彦教授略年譜
Sub Title	Biographical resume of professor Teruhioko Hinotani
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1994
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.65, (1994. 3) ,p.I- VI
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	檜谷昭彦, 佐藤一郎両教授退任記念論文集
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00650001--005">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00650001--005</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

檜谷照彦教授略年譜



## 略年譜

- 昭和四年一月三日 埼玉県比企郡松山町（現東松山市）にて父正雄、母清子の次男として出生。
- 同 六年 東京市中野区氷川町二〇番地に移転。
- 同 一〇年 四月 東京市中野区立桃園第五尋常小学校入学。
- 同 一四年 四月 学区改正により同東中野尋常小学校に転校。
- 同 一六年 三月 同校卒業。
- 同 年 四月 東京市杉並区日本大学第二中学校入学。
- 同 一九年 四月 疎開により埼玉県立松山中学校に転校。
- 同 二二年 三月 同校卒業。
- 同 二三年 四月 慶應義塾大学予科文学部入学。
- 同 二四年 四月 同大学文学部新制一年に移行入学。
- 同 二八年 三月 同大学同学部卒業。
- 同 年 四月 同大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程入学。
- 同 二九年 四月 戸板学園女子高等学校教諭（国語科）として同三四年三月まで勤務。
- 同 三〇年 三月 慶應義塾大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程修了。文学修士号取得。

- 同三二年 四月 同大学大学院同研究科博士課程入学。
- 同三三年 四月 同大学文学部副手就任。
- 同三四年 三月 同大学大学院文学研究科国文学専攻博士課程所定単位修得満期退学。
- 同 年 四月 同大学文学部助手就任。
- 同三八年 四月 同大学同学部専任講師就任。
- 同四三年 四月 共立女子大学短期大学部文科非常勤講師として同五五年三月まで勤務。
- 同四五年 四月 慶應義塾大学文学部助教就任。
- 同四六年 三月 アメリカ合衆国シカゴ大学極東文化言語学部非常勤講師（シカゴ大学およびフルブライト委員会招聘）として同年六月まで集中講義。
- 同 年 七月 文学（共著）NHK大学講座「日本放送協会」刊行。
- 同四七年 二月 黒本・青木・黄表紙等草雙紙簡明書誌備要（「芸文研究」第三一号別冊（慶應義塾大学芸文学会）刊行。
- 同四八年 二月 いろはかるた物語（共著 角川書店）刊行。
- 同四九年 四月 慶應義塾大学文学部教授就任。
- 同五〇年 三月 文学（共著）大学通信教育共通教材 私立大学通信教育協会 改訂版・同六〇年三月）刊行。
- 同五一年 三月 文学（共著）慶應義塾大学通信教育教材 慶應通信）刊行。
- 同 年 同月 鏡花全集 別巻 慶應義塾図書館蔵鏡花自筆原稿目録（共編 岩波書店）刊行。

- 同 年一〇月 説話文学必携（共編）日本の説話別巻（東京美術）刊行。
- 同 五二年 四月 慶應義塾大学大学院文学研究科委員就任。
- 同 五三年 三月 生きている敗者——伝承の人間像——（実業之日本社）刊行。
- 同 年 九月 慶應義塾大学より文学博士号取得（五三七号・井原西鶴研究）。
- 同 年一二月 日本人と嘘（KKロングセラーズ）刊行。
- 同 五四年一二月 ことわざの世界——曖昧さと両義性——（日本書籍）刊行。
- 同 年 同月 井原西鶴研究（三弥井書店）刊行。
- 同 五五年一二月 未練の文学——二人妻伝承——（NHKブックス）日本放送出版協会）刊行。
- 同 五七年 一月 高校日本文学史（中央図書）刊行。
- 同 五八年 四月 研究資料日本古典文学 全一二巻・別巻（共編）明治書院）刊行開始。
- 同 年 六月 現代語で読む学問のすすめ（三笠書房）刊行。
- 同 年 九月 名古屋大学文学部非常勤講師として集中講義（学部・大学院）。
- 同 五九年 四月 学習院大学文学部非常勤講師として同六二年三月まで勤務（学部）。
- 同 年一〇月 日本短篇物語集事典（共編）東京美術）刊行。
- 同 六〇年 一月 江戸時代の事件帳（二十一世紀図書館 P H P 研究所）刊行。
- 同 六一年 五月 世間胸算用（桜楓社）刊行。
- 同 六三年 七月 西鶴論の周辺（三弥井書店）刊行。

平成元年 五月 日本文学研究大成 西鶴（国書刊行会）刊行。

同 年 同月 現代語で読む人生最高名著 学問のすすめ（知的生きかた文庫 三笠書房）刊行。

同 二年 四月 学習院大学文学部非常勤講師として同三年三月まで勤務（学部）。

同 年一二月 私説いろはかるた物語——昭和を生きた友人へ——（創拓社）刊行。

同 三年一二月 西鶴とその周辺（論集近世文学三 勉誠社）刊行。

同 四年 二月 一冊で100名作の「さわり」を読む（友人社）刊行。

同 年 四月 中央大学文学部非常勤講師として勤務（学部・大学院）、現在に至る。

同 年 七月 一冊で怪談おぼけばなし100冊を読む——日本怪異文学名作案内——（友人社）刊行。

同 五年一〇月 西鶴選集 世間胸算用（影印・翻刻 おうふう）刊行。

同 六年 三月 慶應義塾大学定年退職。

所属学会・役職 日本近世文学会委員、全国大学国語国文学常任理事。

（聞書・松村友視）